

# 町自連だより

## 八王子わが町

### 西川古柳さん

八王子車人形 西川古柳座五代目

**変化をおそれず、時代ごとのエッセンスを加えていくことが伝統・文化の発展につながると信じています**

「八王子わが町」は、八王子にゆかりのある著名人の方にお話を聞くコーナー。第1回目は、八王子が誇る伝統芸能「八王子車人形」の宗家で八王子市観光大使でもある、八王子車人形西川古柳座 五代目・西川古柳さんです。

「国内外で多数公演、高い評価を受けていらっしゃいます。ですが、伝統芸能を守る立場で苦勞も多いのでは。西川さん(以下N) 実は

「守る」という言葉はあまり好きではないんです。守るといふ言葉は現状維持で、前向きな未来が感じられなくて。伝統芸能の継承

には、時代ごとのエッセンスを加えていくことが必



左:五代目西川古柳氏  
右:お弟子さんへのお稽古

#### 西川古柳氏 プロフィール

1953年 八王子生まれ  
1996年 五代目西川古柳襲名  
2004年 国・選定無形文化財に「八王子車人形」が指定、八王子市観光大使就任



要。失敗することもあるけれど、新たな挑戦は次のステップをふむための大事な過程です。

「次世代育成の取り組みは。N 演者の育成と同時に観ていただく方を増やす努力が必要と考えています。現在八王子市や日本各地の小学校等からの依頼で、学校訪問や講習会を通して子供たちに「車人形」を知って、好きになってもらう活動をしています。子供は先入観がなく、伝統芸能をバレエやピアノと同じに感じてくれるんです。これはとても面白いし、新鮮な感覚でした。こういった子供たちの育成が伝統芸能の価値観を高める鍵なのではないかと思っています。

「町会・自治会活動も若い世代の方々に参加していただくことが課題です。N 私は車人形も町会・自治会活動も「継承」という面で共通点があると思います。町会・自治会活動も今

までの活動を基に新しいことを取り入れる勇氣を持ち、他の世代の意見にも耳を傾けていかなければならないと。難しいことを言う若い世代は尻込みしてしまうから、まずは「参加したい」と思ってもらうことが先なのではないでしょうか。震災後は特に地域のつながりが再注目されていますから、隣人同士の交流のいい所を知ってもらう機会にしたいですね。

「最後に、八王子市の観光大使でもある西川さんが考える八王子市の未来像は。N 「最近、特に「活性化」が課題だと叫ばれています

が、私は八王子ならではの町づくりをすればおのずと人が集まり、活性化するのはないかと考えます。他の地域の真似や追従ではなく、オンリーワンの町づくりができるということです。ね。そのためにも、八王子車人形もたくさんの方々を知っていただけるように活動していきたいです。」

特集

八王子で学び、自分を  
ブラッシュアップしよう

八王子には周辺部を含め23の大学、短期大学、高専があり、全国でも屈指の「学園都市」として有名です。市内の各大学では学生だけでなく、地域住民や社会人に向けた講座が多数開催されているのをご存知ですか？4月を迎え「何か始めてみたい」と思っている方必見、地元で気軽に楽しく学べて、しかもためになる講座をご紹介します。

共立女子大学・短期大学は「共立アカデミー」という会員制の生涯学習を開催しています。大学と社会人の接点として一般社会人も広く参加できるようにと生涯学習に力を入れていて、教養、文化、健康、実技、資格等多数の講座を提供中です。2012年度からは八王子キャンパスでも「共立アカデミー」を開催予定なので、一度チェックしてみても。また、地域住民の方が気軽に参加できる「公開講座」も毎年開催しています。昨年開催された「源

氏物語の未来へ」講座には、市内在住の幅広い年齢層の方が多数参加、その満

足度も非常に高かった様子。今年の八王子キャンパスの公開講座は5月下旬か

ら「親子」で楽しめる企画の充実をはかり、ゴルフ、護身術、フラダンスなどバラエティーに富んだプログラムを開催予定です。東京純心女子大学では音楽、教養、親子で参加する読み聞かせ等、大学の特色を活かしたプログラムを年間通じて開催しています。近隣住民の方をはじめ、プログラムによっては遠方から参加する方も多いそうです。今年度も各種公開講座の開催が決定しています。多摩美術大学のプログラ



上：共立女子大学・短期大学 昨年の公開講座の様子  
下：多摩美術大学八王子キャンパスで実施された版画講座

生涯学習・公開講座

大学名	開催日	講座名	開催場所	申し込み・問い合わせ
共立女子大学・短期大学	5/20から 毎日曜日、全5回	おやこでゴルフレッスン ※小学生以上の方が対象	八王子 キャンパス	共立アカデミー TEL:03-3512-9981
	5/27	おやこで護身術 ※小学生以上の方が対象		
	6/3から 毎日曜日、全3回	おやこでフラダンス ※小学生以上の方が対象		
東京純心女子大学	6/23	うちわに描く (創作うちわ実技講座)	八王子 キャンパス	東京純心女子大学・ 地域共創センター TEL:042-692-0326
	6/23、6/30	ことばと文化		
	7/21、7/28	親子でたのしみおはなし会 (読み聞かせ、紙芝居等)		
多摩美術大学	5/11~7/13の 毎金曜、全10回	銅版画のきほん (講義、実技)	八王子 キャンパス	はがきに必要事項明記の上、 〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34 多摩美術大学生涯学習センター へ送付 ※4/17必着 生涯学習センター TEL:03-3702-9868

※上記以外に各校共多数講座が予定されています。また、各講座には定員、参加費用等が発生する場合がありますので、詳細は各大学のHPからお問い合わせでご確認ください。

ムは、八王子キャンパスの本格的なアトリエ・工房で作品制作が学べ、受講生は美術資料が豊富に揃う図書館の利用も可能です。こちらを自当てるに市内外からたくさんの方が参加するそうです。今年も「銅版画のき

ほん」講座が開催されます。その他の大学でもそれぞれたくさんの方の生涯学習プログラムや公開講座を開催しているの、キャンパスの雰囲気を感じながら、楽しい講座に参加してみたいかがでしょうか。





八王子市長

# 石森孝志 町自連の活動に 期待します！

## 新市長から 町自連にメッセージ

さる一月の選挙で、新市長となられた石森氏から町自連の皆さんにお言葉をいただきました。新しい市長のもと、八王子をより住みよい町にするために、力を注いでいきましょう。

このたび町会・自治会の皆様をはじめ市民の皆様からのご信頼を受けて、八王子市長としての重責を担わせていただくことになりました。58万市民を擁する八王子市政のかじ

取り役をお任せいただき、光栄とその責任の重さを痛感しているところです。

市内の各町会・自治会は、それぞれ地域の防犯・防災・環境美化、住民相互のふれあい活動など多岐にわたる取り組みを大変熱心に展開されています。日頃から、地域住民の先頭に立ち、ご尽力いただいている会長様をはじめ、役員の皆様

に敬意を表するところにも、心から感謝申し上げます。さて、先般の市長選挙におきまして私の目指すまちづくりの姿のひとつとして、「安全で安心して暮らせるまち」を掲げさせていただきます。その実現

には、市民の皆様との協働が不可欠と考えています。その意味からも町会・自治会は、市民協働の基盤となる最も重要な組織であり、本市の誇る「市民力」「地域力」の原点であります。

地域コミュニティ意識が希薄化し、近年町会自治会にご加入いただけない方もいらっしゃるようですが、是非、一人でも多くの方々に町会活動の重要性をご理解いただき、積極的に各種町会行事に参加されることを望んでいます。そうした中から、郷土を愛する心や市民意識が高まり、市民自らがまちづくりに参加すること、このまちに住んで本当に良かったと思えるまちづくりが進められると思っています。

結びに、八王子市町会自治会連合会の益々のご発展を祈念致しますとともに、市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

### 石森孝志 プロフィール

生年月日：昭和32年8月8日  
略歴：明星大学 人文学部卒  
東京経済連勤務（10年）  
八王子市議会議員（3期）  
東京都議会議員（2期）  
八王子市長（平成24年1月～）  
趣味：ドライブ、ゴルフ、読書  
座右の銘：「一視同仁」

# 共立女子大学・短期大学 公開講座2012

八王子キャンパス

小学生以上の方を対象に

## おやこでゴルフレッスン

(5/20から毎日曜日、全5回)



## おやこで護身術

(5/27)



## おやこでフラダンス

(6/3から毎日曜日、全3回)

## 共立アカデミー前期講座

「古事記」を片手に古代出雲へ

第二中学高等学校前校長 関和彦 (5/20、6/3、6/17)

日本神話の古層を探る

准教授 遠藤耕太郎 (5/20、6/3、6/17、7/1、7/15)

万葉集の魅力

教授 岡部隆志 (6/10、7/8)

美の概念から見た日本色彩

名誉教授 城一夫 (7/1、7/8)

資料請求 共立アカデミー

TEL 03-3512-9981 〒101-0003 千代田区一ツ橋2-6-1 共立女子学園2号館  
FAX 03-3237-2858 e-mail ka-info@kyoritsu-wu.ac.jp

共立女子学園 八王子キャンパス 東京都八王子市元八王子1-710

# 東日本大震災で 再認識された地域の絆

## 町自連の現状と今後の課題を 秋間会長に聞く

「町自連だより」は、本号からリニューアルし、年4回、8ページへと大幅に変更することになりました。これに合わせて編集部は会員の皆さんに八王子市町会自治会連合会（略称：町自連）についての理解をもっと深めていただくために、秋間利久会長に町自連の現状と今後の課題等について伺いました。（聞き手 広報部長・平塚忠勇）

### 315団体

11万9千世帯

平塚広報部長（以下、平塚）  
町自連はいつ結成されたのですか

**秋間会長（以下、秋間）**  
町自連は平成14年に「町総連」を発展的に解散して他の連合会とともに新しい組織として結成され、すでに10年目を迎えるようになっています。  
平塚 町自連に加入している町会・自治会と世帯数は

どうなっていますか。

**秋間** 八王子市内における町会・自治会の結成率は他市に比べて高く、現在、558団体が登録されています。そのうち町自連には315団体11万9千世帯が加入して、文字通り八王子市を代表する町会自治会連合会となっています。そして、八王子市内に23の地区連合会で組織され、これを基本にして活動を展開しています。

### 町会自治会活動を サポート

平塚 町自連の活動の基本はどのようなものですか。

**秋間** 皆さんが加入している町会・自治会は、安全で安心して暮らせるまちづくりにむけて活動しています。町自連は地区連合会を通じて提起されてきた町会・自治会の行政に係わる課題や問題点について、行政としっかりと協議し、その実現に全力をあげてサ

ポートしています。また、「八王子市まちづくり審議委員会」「八王子市行政改革推進審議会」をはじめとする35の行政審議会・委員会、「八王子市中心市街地活性化基本計画策定委員会」など7つの検討会・策定委員会、さらに「美しい八王子をつくる会」など22の行政外団体等に町自連の代表者を送り込み、市民生活者の目線に立った積極的な提言を行っています。

**重要な行政との連携**  
平塚 町会・自治会は行政の下請け機関かなどと指摘する声が一部であります。

**秋間** そうではありませんが。町自連は住民組織である町会・自治会を代表して、「主張するものは主張し、協力すべきは積極的に協力する」という立場を堅持して対応しています。行政も町自連の立場をよく理解しており、町会・自治会組織は安全・安心のまちづくりのためのパートナーと位置づけているようです。町自連の定例役員会には、行政機関の要請・依頼事項を必ず説明しに来ていることもそのことを証明しています。勿論、町自連はその場で内容を精査し、修正させることも少なくありません。

議所や八王子市商店会連合会と共に「営業存続を求め署名活動」に積極的に取り組む独自で約6万人もの署名を集めました。もう一つ大きな取り組みは東日本大震災に対する義援金の取り組みです。

**そごう存続署名6万名  
震災義援金約5千万円**  
平塚 さて、昨年は市内外で激動した年でしたが町自連はどのような取り組みを行いましたか。

**秋間** 大きな取り組みとして2点ありました。一つは市内での大きな出来事として「そごう八王子店」の撤退問題がありました。「西武」や「丸井」などが次々と八王子の街から撤退し、最後の砦ともいえる「そごう八王子店」までが撤退するということは50万都市の市民として耐え難いものでした。とくに、南口開発事業が終了し、さあこれからという時期でした。町自連は八王子商工会

### 地区連合会の活性化

平塚 町自連は、しっかりとまじめに活動を展開しながらも、市民の中での存在感はまだまだ希薄です。今



# 町自連だより



## 秋間利久会長のプロフィール

1944年	八王子生まれ(68歳)	職業	秋間電設株式会社 代表取締役
1997年	元横山町第二町会長	家族構成	妻、1男2女
2009年	八王子市町会 自治会連合会会長	趣味	読書、観劇、旅行

後どのような活動を進めていくのでしょうか。  
**秋間** 確かに町自連は力量が不足しており、多くの町会・自治会の期待に十分に応えているとは言えません。

とくに、町自連組織の基本である地区連合会の一部には定例会が開催できない弱さを抱えています。このことが結果として町自連の活動の進展を阻害しています。現在、そうした地区に対しては、ヒアリングを進

め現状克服にむけての活動を強化し、組織の活性化を急いでいます。

とくに、活動領域を拡大するために、東京都の「地域の底力再生事業助成」や八王子市の「町会等地区連合会交流事業補助金」を活用してさまざまな取り組みが行われていますが、いまだ活用していない地区は、ぜひ活用してほしいと思います。具体的な活動に多くの住民が参加することを通じて町自連への理解が得ら

れると思います。

## ■すべての町会を

### 町自連へ

平塚 町自連に加入していない町会・自治会についてはどのように考えていますか。

**秋間** 現在243の町会・自治会および管理組合が町自連へ参加していません。加入しない背景はバラバラですが、地区連合会を通じてその原因を究明し、加入の働きかけを強めていきます。

4年前に町自連は全ての町会・自治会に対する市からの事務交付金を増額させ日常生活に係わる多くの諸問題についても、町自連が折衝して改善させてきています。こうしたなかで、町自連未加盟の町会・自治会に対する差別化について検討すべきではないかという意見が強まっています。

## ■地域の政策課題を

### 掲げて

平塚 各地区には現在さまざまな政策課題があり、町

自連としての目標を明確にして、長期的な展望に立った取り組みをしていくべきではないかと思えます。

**秋間** 八王子市は「八王子ゆめおりプラン」に基づいて新しい時代にふさわしいまちづくりを着実に実行しようとしています。同時に、私たちが住んでいる地域においても様々な課題が山積しています。「住んで楽しい八王子」のまちづくりに向けて、町自連としても積極的に政策課題を提起していかなければなりません。勿論、主役は一人ひとりの市民です。町会・自治会でしっかりと話し合い、地区の政策課題まで高めていく努力が必要です。こうした取り組みを通して、存在感のある町自連へと発展させていきたいと思えます。

**■町会活動はより楽しく**  
 平塚 最後になりますが、高齢化が進む中で多くの町会・自治会が役員不足を含めてその運営に苦慮してい

ます。町自連会長としてメッセージがありましたらお聞かせ下さい。

**秋間** 大変厳しい状況の中で身を削ってがんばっておられる役員の方々に心から敬意を表します。  
 3. 11大震災で地域そのものが壊滅状態の中で、人々が助け合い、励まし合い、支え合うことの大事さ、つまり地域の「絆」が再認識され、それ以降、大きなキーワードとなりました。町自連の義援金があればほど集まったのもこの延長上にあったと考えます。そして、震災以降に開催した各地域および町会・自治会の防災訓練には今まで関心がなかった人たちが多数参加してうれしい悲鳴を上げています。そういう面から見ても、町会・自治会の重要性を見直す動きが徐々に強まっています。町会、自治会役員はこの期待に応えなければなりません。勿論、町会・自治会活動は多くの人が参加して楽しく活動す

ることが大事です。あまり無理せず、できる範囲で活動を継続することではないでしょうか。新たな後継者をどうつくりあげるかは共通の課題です。町自連でも昨年初めて新人の町会長を集めて研修会を開催しました。これからもできる限りのサポートを続けますのでがんばっていただきたいと思えます。

今まで午前中のみでご不便をおかけしましたが、より皆さんの声が聞けるよう体制を強化しますので、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。

事務局  
受付

月曜～金曜（祝日を除く）の  
9時～12時・13時～16時となります。

Tel:042-648-6110

事務所の受付時間  
4月から変更

# 町会・自治会活動ダイジェスト

## 小学校と合同避難訓練

片倉台自治会

片倉台自治会と片倉台小学校は1月21日、片倉台小学校において合同避難訓練を行いました。



この目的は、地震により火災が起きた時の正しい避難の仕方を知ることや煙体験ハウス、起震車、初期消火訓練などの体験を通じて防災について学ぶこと、また、地域・保護者の方にも参加していただき、防災意識の高揚を図ることにありました。

開会式で田中泰慶自治会長は「災害はいつ起きるか分からないため、日頃から訓練しておくことや災害が起きたときに備え、人々の繋がりが大切だ」と訴えました。この日はあいにくの冷たい雨が降り、予定していた校庭での訓練は中止せざるを得ませんでした。

校内での避難訓練は、274名の児童が通常より遠い体育館まで6分で整然と避難しました。また、児童たちは消火器の扱い、消防隊員の制服・装備説明、ビデオによる東日本大震災の模様、消防士の活動を通じて災害の恐ろしさや早い避難の大切さを学びました。

児童の訓練終了後は、保護者、地域住民を対象にAED体験、通報訓練、消火器の取り扱い、非常食試食などの体験を行いました。

なお、この訓練には各種団体から全面的な協力をしていただきました。

## 中町誕生百周年を祝って

中町町会

私たちが住む中町は、大正元年10月1日に八王子

の町名整理によって横山町と馬乗町の一部区域とを合わせて誕生し、今年で100年を迎えました。

町会は100周年を迎えるに当たって、一大イベントを催して祝うことで、いま世の中で起きている暗い出来事を払拭し、中町から元気を発信できたらという思いで昨年の夏から毎月1回実行委員会を開催して準備を進めました。

この記念行事を完全に遂行するために必要な500万円の資金を集めようと、町内の一軒一軒を回り、協力をお願いして歩きました。

こうした努力が実り、1月7日、山車巡業、南町の山車とのぶっつけ、梯子乗り披露、初春の舞には大勢の観客で賑わいました。特に国道16号線、富士見通りを中町と南町の山車が併走した山車の競演は圧巻でした。

また、寄付金500万円も達成でき、住民の中町に対する熱い思いを感じ感謝しています。そしてこの記念事業を通してよりいっそう「絆」が強まり、町の活性化に少なからず寄与できると確信しています。

## 無病息災へ「どんど焼き」

長房町中郷町会

町会は1月9日、陵南公園脇の古道橋河川敷で8回目

の「どんど焼き」を開催しました。

町会の「どんど焼き」は、約40年前に日光神社境内で行われていましたがその後、長い間中断していました。しかし、8年前に町民のなかから復活させようという機運がたかまり、再開されました。これには町会以外の近隣の方々も大勢参加し、毎年楽しみの行事の一つになっています。

「どんど焼き」の準備は12月下旬に竹串作り(1本2メートルを120本)や杉葉等を集めるのを

はじめ、前日には老人会や民謡会の有志によって団子、お汁粉、甘酒などを準備します。

当日は参加した人たちからお正月飾りやお札等も持ち込まれ、午前10時に年男、年女による火入れ式で無病息災を願う老若男女が大きな輪を作り竹串につけたお団子を焼きました。

また、対岸には消防団が待機して、「どんど焼き」終了後には、子供たちの放水体験も実施しました。今年の「どんど焼き」も明るい笑い声が響き、盛況のうちに終了することができました。

## 認知症で健康管理講座

唐松町会

町会は八王子保健生活協同組合相談員の齊藤健一氏



を講師に迎え、「認知症予防」の講演会を開催しました。

今回は生活習慣病対策・老化予防が認知症予防にもっとも有効な手段で、①食事コントロール ②日々の運動 ③嗜好品(酒、たばこ)の制限 ④頭をつかうことについて詳しく話をさせていただきました。また、途中で身体を動かすために「青い山脈」を歌いながら手をたたき、足を交互に上げる運動などを行い、和やかに楽しい講演会ができました。

認知症を予防するには野菜主体で毎日1食は魚を食べる、週1回はカレーを食べる、緑茶を毎日2~5杯飲む、甘い物・塩分は控えバランス良く栄養をとる、いつも笑顔、人と話をすることなどをストレスがない範囲で行えば認知症予防が可能となることでした。認知症については今回で3回目となり、学んできたことを正しく理解し、地域で認知症の家族を温かく見守る応援者になれるようにしていきたいと考えています。



みんなの介護  
みんなの医療

# 福祉の現場から

加藤公恵(保健師)

八王子の医療、福祉、介護を取り上げていく新企画です。今回は長年福祉の現場で頑張ってきたベテランのエッセイです。このコーナーは、八王子の医療福祉介護現場の方々と、それを利用する市民の方々をつなぐ場にしていきたいと思っています。



私たちは何のためにここにいて、何を指して生きていけばいいのだろう。それが知りたくて、知的障害者の施設「コロニー」に就職した。ハンディを持って生まれた方の幼少から、入学卒業、就職、そして引退まで一生の支援のあり方を学びたかった。考えるきっかけになったのは、保健師実習で、障害児を持つ

母親から、「この子の人生を考えると一緒に死にたくない」という話を聞き言葉をかえせなかった経験による。人を支えるってどういうことなのか、実際の苦勞が想像できるときに「頑張っても大丈夫」も言葉として力が無いことを知った。どれほど重い障害を持って生まれたとしても、生まれてきてよかった

といえる概念を手にしたくて、職場で福祉を学んできた先輩たちを訪ね、納得できるまで議論した。医療の主流は生命体として存在することを重視するが、福祉や教育の先輩は、徹底して「関係性」の質に意味をおいていた。「私たちはいろんな人に出会うために生まれてきて、いろんな人と自分の間の関係性を育てるために生き続けるんだよ」と。人との関係は変化する。自分の状態が変わっても影響する。親・家族・親友・上司・同僚・ご近所・苦手な人・挨拶もしない他人。親子はおそろいぐちゃ

らがどういふ状態になっても、最大限尊重しあえる最強の味方であるし、親友は思ったことをそのまま感情的に話しても安心であり互いに学びあっている。苦手な人には気を使い互いに理解しようと思わない。そしてこの質に変化の可能性があるとところが「生きる」意味に繋がる。家で高齢者の終末期に寄り添うとき何度か最高の関係性を見せていただいた。「お父さん大好きだよ、今度は親子じゃなくて恋人で出会いたいね」「お母さん私たちは大丈夫だからもう安心して眠ってね」生命体としては覚悟して別れるが、関係は「温かい記憶」として永遠に残った人を支える。人が元気になるのも「元気になることを願ってくれる家族や友人」心配して言葉をかけてくれる介護職の人の存在は大きい。(医療法人社団永生会 在宅総合ケアセンター センター長 介護統括管理部長)

らがどういふ状態になっても、最大限尊重しあえる最強の味方であるし、親友は思ったことをそのまま感情的に話しても安心であり互いに学びあっている。苦手な人には気を使い互いに理解しようと思わない。そしてこの質に変化の可能性があるとところが「生きる」意味に繋がる。家で高齢者の終末期に寄り添うとき何度か最高の関係性を見せていただいた。「お父さん大好きだよ、今度は親子じゃなくて恋人で出会いたいね」「お母さん私たちは大丈夫だからもう安心して眠ってね」生命体としては覚悟して別れるが、関係は「温かい記憶」として永遠に残った人を支える。人が元気になるのも「元気になることを願ってくれる家族や友人」心配して言葉をかけてくれる介護職の人の存在は大きい。(医療法人社団永生会 在宅総合ケアセンター センター長 介護統括管理部長)

祝 町自連だよりリニューアル

八王子市とともに歩み続けて50年。

新たな半世紀に向かって、より良質で安心な医療・介護を目指します。

JR 西八王子駅南口  
東京都指定二次救急医療機関

**南多摩病院**

新棟「救急医療センター」開設

永生病院

永生クリニック

介護老人保健施設 イマジン

グループホーム 寿限無

訪問看護ステーション とんぼ めだか ひばり いるか

医療法人社団 永生会

永生会総合コールセンター ☎ 0120 - 001 - 083



## 町自連研修会を きっかけに本を出版

立川大山自治会会長・佐藤良子氏が  
「命を守る自治会」の本を書きました

昨年の2月に行われた町自連研修会で、立川市大山自治会長の佐藤良子さんが講演をしてくださいました。自治会加入率100%、そして、自治会費納入率も100%に近く、組織化している自治会のお話に聞き入れられた方も多いと思います。その佐藤さんの町自連研修会での講演を聞き、彼女のバイタリティあふれる自治会運営を全国の人たちに伝え、そして、より多くの町が結束を堅くする機会になればと、考えた編集者がいました。で、このほど、佐藤さんの本『命を守る東京都立川市の自治会』が出版されました。中には、自治会運営の苦勞、アドバイ



スがたくさん詰まっています。全国の書店で好評発売中です。

『命を守る東京都立川市の自治会』佐藤良子著  
(840円 廣済堂出版)

京王八王子駅から歩いて2分。そこに真っ赤に彩られた創業22年のお店「ちろりん村」があります。ここの売りは、おいしいたこ焼き、今川焼ですが、店主の小林一恵さん、立子さんの美人姉妹も立派な看板です。実は、小林家は一恵さんの嫁ぎ先。彼女は、夫である清志さんとこの店を始めました。勤め人であった清志さんが透析を始めたため、自営業に転じたのです。開店して15年が過ぎ、店頭他、様々なイベントにも呼

ばれるようになったころ、清志さんは闘病のかいなく、52歳で亡くなりました。「今年はまだ7回忌です」。それからも一恵さんと立子さんは、頑張って店を盛り上げてきました。今では、たこ焼き6個250円以外に、200種類くらいのメニューがあります。店内にも店頭にも、清志さんが大好きだったウルトラマンが。人が大好きで社交的だったという清志さんの願い通り、老若男女が集まる店「ちろりん村」は、健在です。



たまにいくなら  
八王子

ウルトラマンが見守る、  
真っ赤なたこ焼き屋さん  
ちろりん村(明神町3丁目)

ちろりん村  
八王子市明神町3-24-1  
電話 042-646-6885  
営業時間：11:30～19:00  
定休日：火曜、水曜  
(イベントの関係で休むときもあります)  
座席数：15席 お持ち帰りOK  
※町会イベント、お祭りなどにも出張してくれます。詳しくはお電話どうぞ。

## 町自連研修会が大盛況

地震学者武村雅之先生をお招きして

さる2月21日恒例の八王子町自連研修会(防災講演会)がいちようホールで開かれました。

今回は、地震学の権威でお



会場は満員で大盛況。皆、先生のお話に熱心に聞き入っていた

### 武村雅之 プロフィール

81年：東北大学大学院  
理学研究科博士課程修了、  
鹿島建設(株)技術研究所入所  
86年：鹿島建設(株)  
小堀研究室へ移動  
2010年：(株)小堀鐸二研究所 副所長  
今年4月より名古屋大学減災連携研究  
センター教授就任

著書「関東大震災を歩く：  
現代に生きる災害の記憶」  
(吉川弘文館)他多数



この春から名古屋大学教授に就任した武村先生

られ、かつ、八王子大谷町在住でもおられる、武村雅之理学博士(以下武村先生)をお招きし「学ぶべきは関東大震災―過去を知り明日に備え

る」というタイトルで、お話をいただきました。武村先生によると、さる3月11日の東日本大震災で「未曾有の」「想定外の」という言葉がよく使われましたが、決してその言葉が正しい訳ではなく、過去の地震をひもといて綿密に研究すれば、ある程度の想定はできたはずだと。特に、今、首都圏直下型地震が騒がれていますが、それには、あの関東大震災に学ぶことが必要であるそうです。その関東大震災のデータなども、武村先生が調べるまで間違っていたことが多く、それを見直してこられたのが、先生なのです。当日は、いつもにまして、会場が大盛況で、キャンセル待ちも出たほどです。皆さんも、普段から防災を学び、近所の方々とも連携を取り、備えるようにしてください。

## 檜原齋場

〒193-0803 東京都八王子市檜原町1578番地5  
TEL: 042-620-3101



檜原齋場は、祭壇が常設されているため、ご葬儀費用が大幅に節減できます。また、壇払いや年忌法要専用のお部屋もご用意しております。ご見学やご相談は、お気軽にお問い合わせください。

■JR八王子駅北口の番/京王八王子駅3番のりば→「檜原町」バス下車、徒歩7分  
■JR八王子駅2番のりば→「四谷並木橋」バス下車、徒歩7分 ■場内駐車場180台。第2駐車場200台。

## ご存知ですか 万が一のときでも安心 自治会活動賠償責任保険

町会・自治会活動はスポーツ、レクリエーション、清掃、防火、防災、防犯、その他の活動など多様です。こうしたなか転倒して怪我をしたとか、草刈り機で砂利をとばし乗用車に損害を与えたとか、お祭りが雨天中止となり仕出し弁当等や仮設トイレをキャンセルしたなど、悩ましい問題が生じています。町自連は6社の保険会社との間で自治会活動賠償責任保険の団体契約を行っています。

これには現在149町会、6万4百世帯が加入しています。保険の内容は賠償責任、傷害見舞い費用、傷害、費用損害となっており、支払限度額はA～Eコースがあり、選択制になっています。町会・自治会活動での事故にも安心できる自治会活動賠償責任保険に加入しませんか。詳しくは町自連事務局までご連絡下さい。